

沖縄県医師会 女性医師部会

宮里 恵子、依光 たみ枝

テーマ 1

病児・病後児保育 について

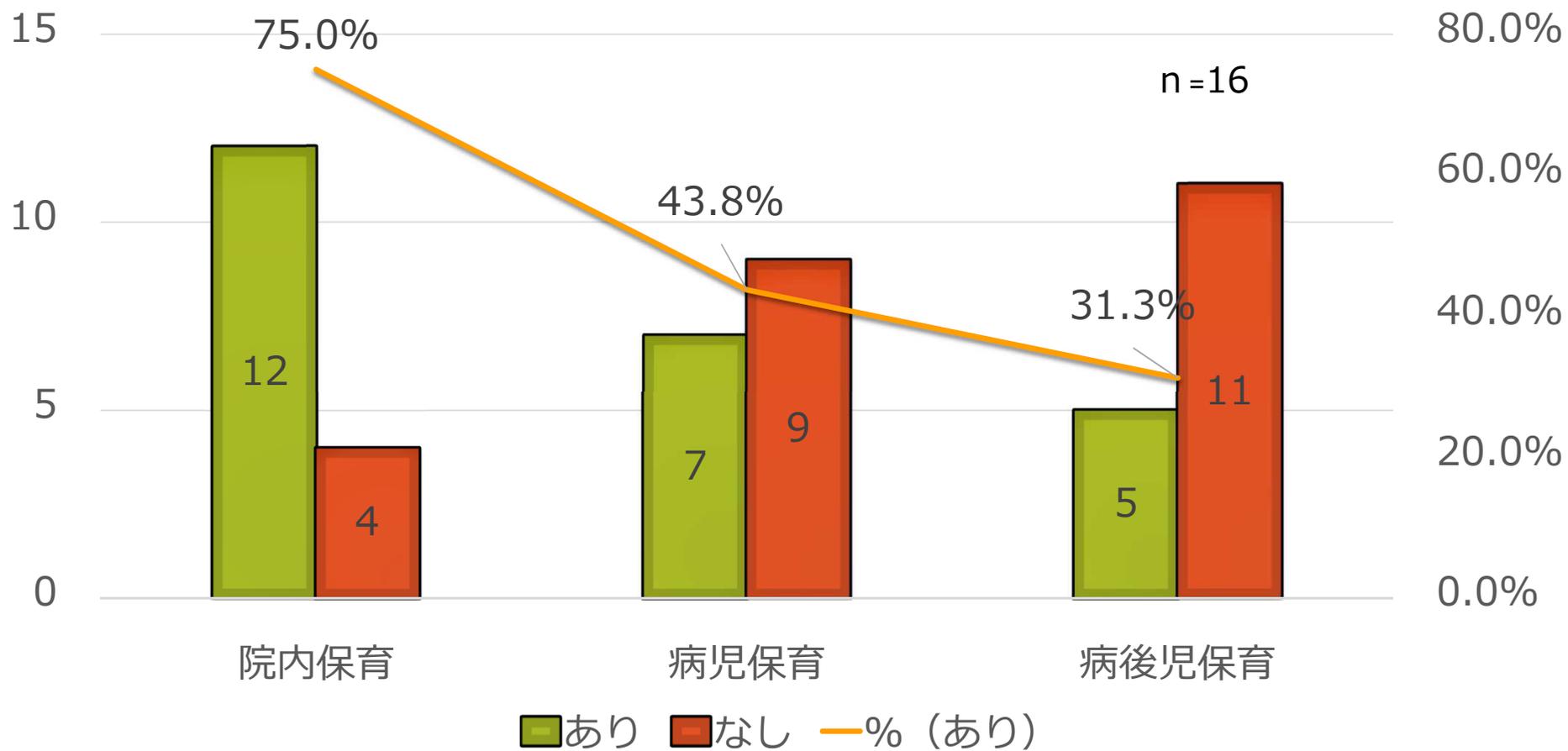
病児・病後児保育について アンケート結果

- 1、院内保育は、16施設中12施設で開設されている
- 2、病児保育受け入れは、うち7施設（予約が必要）で可能
定員、年間利用人数はさまざま（利用例は多い）
- 3、病後児保育受け入れは、同じく5施設

* 学童保育をすでに開設、あるいは今後予定している病院は
なかった。

* 臨時学童学童保育に関しても開設困難の回答だった。

院内保育・病児保育・病後児保育の実施状況 (沖縄県 研修指定病院16施設)



テーマ 2

地域でも活躍するには
どのような支援が必要か

北部地区医師会病院の例

- 沖縄本島北部に位置する200床の病院。
対象は12市町村13万人
- 職員は650人、医師は38人
(うち女性医師5人、研修医は3人)
- 女性医師の就業率のM字カーブの
離職を小さくするためにできること
 - **職場の雰囲気をよくする**
 - **勤務先に託児施設がある**
- 環境を整えることは、働くスタッフ全体によい効果をもたらす



職場の雰囲気をよくする

- 女性医師座談会であがった声は…
 - 子育てしながらキャリアを積むのに、居心地がいい。
 - 上級医が積極的にカバーしてくれる。
 - 医局内の雰囲気が良く、他科も相談しやすい。
 - 上級医が趣味で休むことを明言してくれるため、「私もここで休みたい」と言いやすい。
 - 子供のことで帰宅を告げると「早く帰って」と送り出してくれる。
 - 上級医がコミディカルスタッフを大切にしている。



若手医師育成

垣根のない医局



早く帰る文化 ・休む文化



託児施設があること

- 職員の子育て支援、職場復帰等を図るため、
 - 平成3年より院内保育を開始。
 - 定員60名（医師の子供は6名）
 - 受入児童は生後2ヶ月から4歳児まで
 - 延長保育にも対応する。
 - 保育料は無償（名護市の支援制度を活用）
 - 現在2名の卒園児が職員として従事している。

医師の働き方改革に向けた取り組み

- 医師の数を増員は容易でなく、医師の労働時間削減も必要。
- 医師が少ない中で医療を行うために
 - 多職種連携体制を実現するため、医師を含めた医療職によるカンファレンスを実施し、課題認識や課題分析を図り、連携の質を高めている。
 - 医師以外のスタッフの強化
 - 薬剤師リクルート、ナースプラクティショナーの活用
- **担当の患者だけでなく、病院の患者を全職員でみる**
- 医師の健康を守る
 - カップラーメンばかりでなく、レトルト総菜を充実させる



多職種連携

NPによるPICC挿入

